

シラバス (授業計画)

| 授業科目名 | 入学年度 | 開講学年・学期 | 必・選 | 単位数 | 担当教員名 |
|--|------|---------|-----|-----|-------|
| 税法学特論Ⅱ | 共通 | 1・2学年 | 選択 | 2単位 | 倉地 和敏 |
| <p>準備学習の内容 (履修の前提条件)</p> <p>簿記・会計の知識が不可欠である。 税法の読み方の基本をマスターしておくこと。 所得税法・消費税法の基本的な条文を読解しておくこと。</p> | | | | | |
| <p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>ゼミでの議論、論文作成の前提となる所得税法・消費税法の専門的知識を習得する。 税の専門職として、所得税法・消費税法の法令の条文を基に課題を解決できる能力を身に付ける。</p> | | | | | |
| <p>授業の概要</p> <p>法令の内容について、「税法入門」(金子宏ほか)、「租税法入門」(川田剛)、「所得税法、消費税法(税大講本)」(国税庁)、「租税法」(金子宏)により理解を深める。 事前に上記テキストにより予習をしておくことが不可欠である。</p> | | | | | |
| <p>授業計画</p> <p>第1回 所得税法① ～総説、所得税制度の基本的仕組み～ 第2回 所得税法② ～各種所得の意義と範囲(不動産所得、事業所得、給与所得、退職所得)～ 第3回 所得税法③ ～各種所得の意義と範囲(譲渡所得、資産の譲渡等に関する特例)～ 第4回 所得税法④ ～各種所得の意義と範囲(利子所得、配当所得、山林所得、一時所得、雑所得)～ 第5回 所得税法⑤ ～所得計算の通則(収入金額、必要経費①(総説～売上原価))～ 第6回 所得税法⑥ ～所得金額の通則(必要経費②(販管費～所得金額の計算の特例))～ 第7回 所得税法⑦ ～課税標準(所得金額の総合、損益通算、損失の繰越控除等)～ 第8回 所得税法⑧ ～所得控除、税額の計算～ 第9回 所得税法⑨ ～源泉徴収制度、非居住者及び法人の納税義務～ 第10回 所得税法⑩ ～申告、納付及び還付～ 第11回 消費税法① ～総説、課税の対象～ 第12回 消費税法② ～非課税と免税、納税義務者と納税義務の成立 第13回 消費税法③ ～課税標準と税率、税額控除～ 第14回 消費税法④ ～申告納付と納税地、国、地方公共団体等に係る特例 第15回 消費税法⑤ ～個別消費税等 第16回 定期試験等</p> | | | | | |
| <p>テキスト</p> <p>書名:「実務 税法六法」、「税法入門」、「租税法入門」、「所得税法、消費税法(税大講本)」、「租税法」 著者: ー 金子宏ほか、川田剛、 税務大学校、 金子宏 発行所:新日本法規、 有斐閣新書、大蔵財務協会、国税庁、 弘文堂</p> | | | | | |
| <p>参考書・参考文献・参考資料等</p> <p>「税法の読み方判例の見方(伊藤義一;TKC出版)」、「ポケット六法(有斐閣)」、「注解 所得税法(注解所得税法研究会;大蔵財務協会)」、「税法用語辞典(大蔵財務協会)」、「図解による法律用語辞典(自由国民社)」、「租税判例百選(水野忠恒ほか;有斐閣)」、「ケースブック租税法(金子宏ほか;弘文堂)」、「新版会計法規集(中央経済社)」</p> | | | | | |
| <p>成績評価の方法・基準</p> <p>授業への取組状況(事前・事後の学習状況等)、授業での発言状況、試験等の結果を総合勘案して評価する。</p> | | | | | |